

## 学びに向かう力 (非認知的な能力) について



正和会  
石川 義郎 議員



**質問** 学びに向かう力 (非認知的な能力) とは何か。今後、新型コロナウイルス問題の中でどう力を発揮するのか。具体的な取組も伺う。

**教育長** 学びに向かう力 (非認知的な能力) には忍耐力、社会性、思いやり、自尊心等が含まれる。幼児期から育み、小学校教育に円滑に接続することが重要。学校再開後の新たな生活様式の中で学びの質を高め

ていくことにもつながると考える。本市では、6月から都教委や大学と連携し、幼保小の関係者や保護者へのアンケートを実施・分析し、幼児期から継続するプログラムを開発する。

### 不登校特例校分教室について

**質問** 教育行政の新たな取組の一つとして4月からスタートした。その後の進捗状況を伺う。

**教育長** 福生第一中学校「7組」

は11名が入学し開級。生徒が社会的に自立できる力を一層育むよう、一人一人の生徒に応じた独自の教育課程を編成。通常の学級にはない教科も新設するほか、通常の中学校の標準時数から2割程度減らし、ゆとりをもたせ、タブレット端末によるオンライン学習も活用している。個々の状況を十分に把握し、充実した支援となるよう整備したい。



▲福生第一中学校「7組」入級を祝う会の様子

## 家庭内で起こる危険を回避するための取組について



生活者ネットワーク  
三原 智子 議員



**質問** 外出自粛で家庭が密室化していると推測され、支援を必要とする家庭への支援を途切れさせないことが大切だが、取組について伺う。また、児童虐待やDVの相談窓口の強化にメール等を活用してはどうか。

**市長** 在宅時間が増え、児童虐待等のリスクの高まりを危惧している。子ども家庭支援センターでは要保護児童や要支援児童の家庭に電話や家

庭訪問で支援をした。メールによる相談対応は、都の児童虐待防止のためのLINE相談、DVやデートDVについては、国の「DV相談プラス」によるメール・チャット相談を紹介している。市では、情報管理の面で課題が多く導入を考えていない。

**質問** 厚生労働省の調査では3月の児童相談所の虐待対応件数が昨年より12%増加したという。実際に相

談は増えているのか。その原因をどう分析するか。

**子ども家庭部長** 本市における相談件数は、昨年と比べ3月、4月と大きな増減はなかったが、緊急事態宣言が継続された5月11日以降、警察等からの問合せが少しずつ増えてきたように思われる。自粛生活が長引き、不安やストレスが要因になっていると考える。



▲「体罰などによらない子育てハンドブック」と児童虐待防止ステッカー(東京都発行)

## 米軍横田基地のフッ素化合物による環境汚染について



日本共産党  
市毛 雅大 議員



**質問** 都が有機フッ素化合物を調査し、立川の井戸で1340ナノグラム、武蔵村山市で143ナノグラムを検出したが、福生市の数値は。市内全域の井戸や湧水、多摩川の緊急調査が必要。汚染の一因は米軍の泡消火剤での消火訓練と思われる。雨水管の水質調査にフッ素化合物を加えては。また市や市民の水質検査費用の助成を国や都に求めるべきでは。

**市長** 昨年1月調査の市の数値は1リットル当たり12ナノグラムとのこと。水質調査は毎年市内10か所の井戸や多摩川で実施している。横田基地雨水管のフッ素化合物調査や個人の井戸の水質検査助成及び国や都への要望は予定していない。

### 米軍機の飛行回数について

**質問** 2019年度の福生市と瑞穂町の騒音測定結果を合計した飛行回数

は過去15年で最高だった2018年度から3千回以上増えている。市の見解を伺う。

**市長** 福東地域の誘導灯付近の測定結果は令和元年度が1万4089回で、近年では平成12年度の1万5418回に次ぐ。航空機騒音は基地周辺住民の生活に大きく影響するため、都や周辺市町とも連携を図り、今後も騒音対策に粘り強く取り組む。



▲多摩川の水質調査の様子

## PCR検査センターにつなげる発熱外来の設置について



日本共産党  
池田 公三 議員



**質問** 福生市のPCR検査センターで市民が検査を受けるには、かかりつけ医等の診断が必要。安全に対応できる医療機関は少ないのでは。発熱外来の設置が必要ではないか。

**市長** 東京都では、感染の心配がある場合は、まずかかりつけの医療機関への電話相談を周知している。市内医療機関では入館時の検温や手指消毒、発熱患者への別途対応など

工夫もしており、現状で受入れ態勢は整っていると考える。

### 小学校の削減案をフィジカルディスタンスの観点で考えることについて

**質問** 感染症に強いこれからの学校の在り方は、文科省の学校再開指針にもあるように、フィジカルディスタンスを考慮し、1教室当たり20人以下とすべき。福生市の公共施設再配置基本方針は40人学級を前提と

しており、見直すべきではないか。

**教育長** 現状、身体的距離の確保は各校とも適正に実践している。距離を開けるだけで教育効果が上がるわけではなく、現状でも少人数学習指導やチームティーチング等工夫・改善もしており、20人学級を独自に編成する考えはない。再配置の計画には将来の人口推計を基に、学校児童数は国の基準に従い進めていく。



▲感染症予防に配慮した授業の様子

### 次回定例会のお知らせ

#### 令和2年第3回定例会(予定)

- ◆本会議 午前10時開会  
9月1日(火)～4日(金)・9月29日(火)
- ◆決算審査特別委員会 午前10時開会  
9月8日(火)～11日(金)
- ◆常任委員会 午前10時開会  
9月15日(火)～17日(木)

◎多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映予定です。チャンネルは広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせします。

### 「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタイズ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。  
ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局  
☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

### ご利用ください! 福生市議会インターネット中継

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも、市議会のインターネット中継を視聴いただけます。議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。



福生市議会  
インターネット中継

- ◆配信内容  
本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法  
福生市公式ホームページ「福生市議会」よりアクセス